

公開講演会

視線の行方 ～「原爆の図」から生まれた紙芝居

アーサー・ビナードさん [詩人]

丸木位里・俊さんの大作「原爆の図」から、詩人のアーサー・ビナードさんは何を受け取ったのか？ 視線の行方を考えてみます。

2019年**11**月**30**日(土) **14:00~17:00**
(開場 13:30)



紙芝居「ちっちゃいこえ」の実演
(2019-5-17「原爆の図」丸木美術館で)

＜アーサー・ビナードさん プロフィール＞
1967年米国ミシガン州生まれの詩人・俳人、随筆家、翻訳家。広島市在住。
コルゲート大学で英米文学を学び、来日と同時に日本語で詩作をはじめ。2001年、詩集『釣り上げては』で中原中也賞、2005年に『日本語ぼこりぼこり』で講談社エッセイ賞、2007年には『ここが家だーベン・シャーンの第五福竜丸』で日本絵本賞、『さがしています』で講談社出版文化賞絵本賞、広島文化賞受賞を受賞。
2019年に、「原爆の図」をもとにした紙芝居『ちっちゃいこえ』を、7年にわたった制作過程を経て出版。

★ 場所 **明治学院大学白金校舎本館2F1255教室**

★ 資料代 800円 (学生無料 * 明治学院大学教職員も無料です)

★ 資料準備のため、出来るだけ事前に申し込みをお願いします → 申込先 下記：竹内へ

「原爆の図」とは…

広島出身の日本画家・丸木位里 (1901~95年) と、妻の洋画家・絵本作家の俊 (1912~2000年) が原爆投下の惨状を描いた大連作。『原爆の図 第1部 幽霊』を発表したのは、原爆投下から5年後の1950年。はじめは1作だけ、その後は3部作にと考えていた「原爆の図」は、とうとう15部を数えました。最後の作品〈長崎〉が描かれた1982年までの32年間、夫妻は「原爆」を描き続けました。

★ 共催「ヒロシマ連続講座」(第90回)

竹内 良男 TEL : 090-2166-8611 E-MAIL : qq2q2vdd@vanilla.ocn.ne.jp

共催 明治学院大学国際平和研究所 (PRIME)

TEL ■ 白金 : 03-5421-5652 ■ 横浜 : 045-863-2203

E-MAIL : prime@prime.meijigakuin.ac.jp

PRIME
INTERNATIONAL PEACE RESEARCH INSTITUTE,
MEIJI GAKUIN UNIVERSITY